



先制ヘディングシュート



三浦サリーも浴衣で熱唱



地元での久々の勝利を喜ぶファン

エースのゴールで今季にかほ初勝利

～ JFL 第23節 ^{クラブリーグ} BB秋田vs福島ユナイテッドFC～



この背中でチームを牽引：エース松田選手

8月3日、仁賀保グリーンフィールドを会場に日本フットボールリーグの第23節が行われホームのBB秋田が、同じ東北勢の福島ユナイテッドFCを迎え、東北対決の1戦に挑みました。

試合は、司令塔である熊林選手を欠き、決定機を作れない時間が続く苦しい試合展開となりましたが、後半は見事に立てなおし、55分にエース松田選手のヘディングシュートで先制。そしてその1点を守り切り、今シーズンにかほ市での初勝利をあげました。

8月8日現在で18チーム中7位につけています。

地区の住民が一堂に会する

～ 地域振興交付金の活用始まる～

8月4日、小出地区と釜ヶ台地区でそれぞれ夏まつりが開催されました。このまつりは、地域内の連携とコミュニティの強化を積極的に進めることを目的とした「地域振興交付金」を活用して行われました。

小出地区では、とんがり童夢パオを会場に平成9年まで行われていた地区の運動会を復活。約150人の地区住民が参加し、ボール送り競走など7種目のレクリエーションや、落語家桂三若ショー、ピンゴゲームを楽しみました。会場は最後まで参加者らの笑い声が絶えず、一堂に会した16年振りの夏まつりを満喫していました。

桂三若ショーの様子 (小出地区)



▲釜ヶ台地区では178人の参加者が、民謡や人形劇などのステージイベントを楽しみました。



開催地枠でにかほ市役所も出場：新象潟グラウンド

全国から32チームが集結

～ 第42回全国自治体職員サッカー選手権大会～

7月26日から6日間にわたり、第42回全国自治体職員サッカー選手権大会が仁賀保グリーンフィールドや新しくなった象潟グラウンド等で開催されました。全国から32チーム、約800人の選手や関係者が訪れ、にかほ市の恵まれたサッカー環境のもと、フェアプレー精神でゲームを満喫しました。

地元チームとしては、開催地のにかほ市と東北第2代表の由利本荘市が出場。共に1回戦で惜敗しましたがゴールを奪うなど見せ場を作り、多くの声援に応えました。大会は東京消防庁の優勝で幕を閉じました。

多岐にわたる「心強い」災害協力

～ にかほ市における災害協力に関する協定～

象潟庁舎で8月1日、にかほ市とJA秋田しんせい、(株)ジェイエイ秋田しんせいサービス、(株)ジェイエイゆり葬祭センターにより「にかほ市における災害協力に関する協定書」が締結されました。

この協定は、災害時に必要な対応を円滑に遂行することや、平常時の防災意識の向上をはかる活動を協力していくことなどを目的としています。横山市長は「食料や燃料、金融、福祉部門と多岐にわたり協力頂けることとなり心強く思う。普段からの防災活動など、住み良にかほ市のための協力もお願いしたい」と話しました。



市が締結した20件目の災害協定

象潟に新産業支援センター竣工

～ 消防署旧仁賀保分署につぎ2カ所目～

8月1日、市が誘致企業の入居用に旧象潟中学校校舎を改築し整備した、象潟新産業支援センターが竣工しました。これは消防署旧仁賀保分署を整備した仁賀保新産業支援センターにつぎ、2カ所目となります。この日は、同支援センターに入居する(株)にかほコールセンターの開所式が竣工式と同時に行われ、関係者や従業員ら約170人が参列しました。

(株)にかほコールセンターは県と市が誘致した企業で、現在176人の従業員が研修を受けており、仁賀保事業所は12月、象潟事業所は来春の創業を目指しています。



旧象潟中学校校舎を新産業支援センターに整備

SPORTS さわやかスポーツ

秋田県身体障害者福祉協会会長表彰

第32回秋田県身体障害者福祉大会において、長年にわたり福祉の向上と発展に寄与した功績が認められ、秋田県身体障害者福祉協会会長表彰を受けました。

- ▽工藤 次男さん (赤石1区)
- ▽田口 志郎さん (潟見町1区)

秋田県スポーツ少年団柔道交流大会

- 小学6年女子個人戦
- 準優勝 竹内 美咲さん (象潟小)
- 3位 竹内 瑠菜さん (象潟小)
- 小学生男子団体戦
- 準優勝 板本 優大くん (平沢小5年・市外団体で出場)

第39回全日本空手道連盟剛柔会 全国空手道選手権

- 50歳以上の形の部
- 準優勝 谷川 友由喜さん (室沢)